



大隈重信宛

副啓

手紙の本文部分、流石の草書で書かれた文章。内容は、大隈重信への挨拶や、近頃の様子、あるいは政治的な見解などに関するものであると推測される。文字は非常に密に書かれ、読み取るには一定の慣れが必要である。

大隈重信
御返書



渋沢栄一書簡 大隈重信宛

明治6年1月5日

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library 114-B171(9)